Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9:00〜20:00
土・日・祝日 10:00〜17:00
（1月1日〜1月3日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンサービスセンター

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社	http://canon.jp/bebit/
キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報	http://canon.jp/dc/
キヤノン販売株式会社 サポート	http://canon.jp/support/
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net/

CDI-J204-010 XX05XXX PRINTED IN JAPAN

Canon

キヤノンデジタルカメラ

IXY DIGITAL WIRELESS

カメラユーザーガイド

本書では、カメラの準備や基本的な使いかたを説明しています。

DiG!C II

ガイドの使いかた

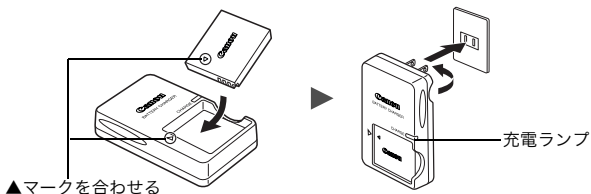
以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

*無線機能を使わずに、付属のインターフェースケーブルを使っても、カメラと接続し、印刷 / パソコンへの転送ができます。その場合も、同じガイドをお読みください。

準備する

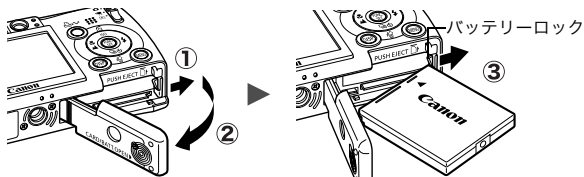
1. バッテリーを充電する

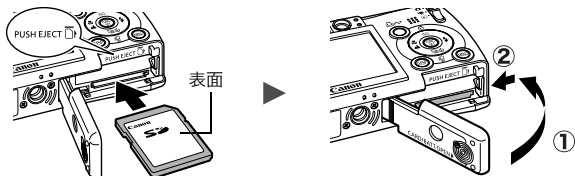
次のような場合に、バッテリーを充電してください。
・はじめて使用するとき
・「バッテリーを交換してください」とメッセージが表示されたとき

1. バッテリーチャージャーにバッテリーをセットする
2. コンセントに差し込む
充電中は充電ランプが橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。約 90 分で充電が終わります。

バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

➔ 応用編：バッテリーの取り扱い（p.113）

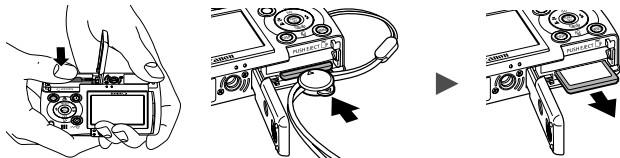
2. バッテリーを入れる

1. メモリーカードスロット/バッテリーカバーをスライドして開く（①、②）
2. バッテリーロックを矢印の方向に押しながら（③）、バッテリーがロックされるまで入れる
バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックを矢印（③）の方向に押しながら取り出します。

3. メモリーカードを入れる

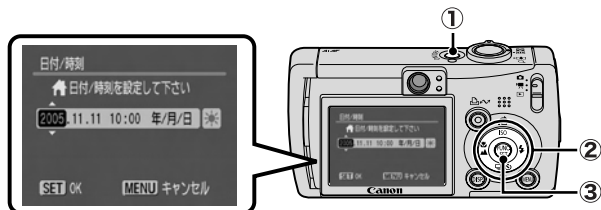
1. メモリーカードを「カチッ」と音がするまで差し込む
2. メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じる(①、②)

メモリーカードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、本体の故障の原因となることがあります。

応用編:メモリーカードの取り扱い (p.116)
応用編:メモリーカードを初期化する (p.26)

■メモリーカードを取り出すには

「カチッ」と音がするまで、指またはリストストラップの透明な部分で、メモリーカードを奥に押し込んで、放します。

このカメラでは、SD *メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらを、メモリーカードと表記します。
* SD=Secure Digital (著作権保護システム)の略

はじめてお使いの場合

■日付 / 時刻を合わせる

1. 電源スイッチを押す（①）
2. ←/→ ボタンで設定したい項目を選び、↑/↓ ボタンで設定する（②）
   サマータイムを設定する場合は、↑/↓ ボタンで☀を表示させます。
3. 正しい日時が表示されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押す（③）
   設定メニューでも、日付 / 時刻を設定できます（p.13）。

- カメラには、日付 / 時刻などの設定を保持するためのリチウム充電池が内蔵されています。カメラにバッテリーを入れたときに充電されますので、ご購入時に、バッテリーを 4 時間程度入れておくか、AC アダプターキット ACK-DC10（別売）を使用して充電してください。カメラの電源が入っていなくても充電できます。
- バッテリーを取り出してから約 3 週間経過すると、設定した日付 / 時刻が解除される場合があります。再度、設定し直してください。

→ 応用編：世界時計を設定する（p.27）

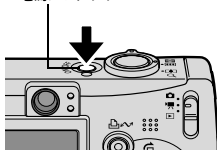
■メニューの表示言語を設定する

1. モードスイッチを ▶（再生）にする
2. FUNC./SET ボタンを押しながら、MENU ボタンを押す
3. ↑/↓/←/→ ボタンで言語を選び、FUNC./SET ボタンを押す
   設定メニューでも、表示言語を設定できます（p.13）。

撮影する

1. 電源スイッチを押す

起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます。

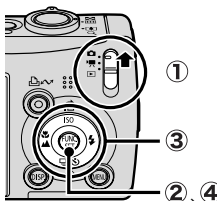
- もう一度電源スイッチを押すと、電源が切れます。
- DISP.ボタンを押しながら電源スイッチを押すと、消音設定が［入］になり、警告音以外のすべての音が鳴らない設定になります。

➔ 応用編：液晶モニターの使いかた（p.17）

➔ 応用編：節電機能について（p.25）

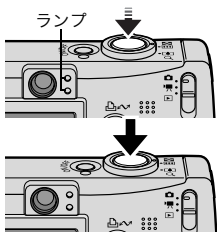
➔ 応用編：設定メニュー（p.33）

➔ 応用編：マイカメラメニュー（p.34）

2. 撮影モードを（オート）にする

1. モードスイッチを（撮影）にする（①）
2. FUNC./SET ボタン（②）を押し、←/→ ボタン（③）で、（オート）を選ぶ
3. FUNC./SET ボタン（④）を押す

3. 被写体にカメラを向ける

4. ピントを合わせて撮影する

1. シャッターボタンを浅く押して（半押し）、ピントを合わせる
   ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ランプが緑色に点灯します。
2. シャッターボタンを深く押して（全押し）、撮影する
   シャッター音が 1 回鳴り、撮影されます。ランプが緑色に点滅し、メモリーカードに記録されます。

➔ 撮影時の基本的な機能（p.5）

➔ 応用編：ランプの点灯 / 点滅について（p.24）

➔ 応用編でいろいろな撮影方法をご確認ください。

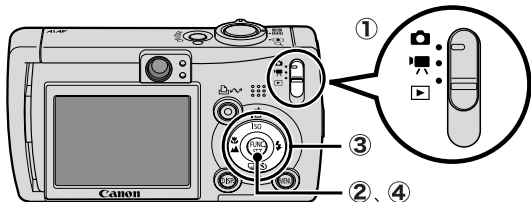
撮影直後に画像を確認する

撮影直後に約 2 秒間、撮影した画像が表示されます。
次の方法で設定時間にかかわらず画像を表示し続けます。
・シャッターボタンを全押しし続ける
・撮影した画像が表示されている間に FUNC./SET ボタンを押す
画像表示の解除のしかた：シャッターボタンを半押しします。

➔ 消去する（p.11）
➔ 応用編：撮影の確認（p.31）

撮影時の基本的な機能

■撮影モードを選ぶ

1. **モードスイッチを（撮影）または（動画）にする（①）**
2. **FUNC./SET ボタンを押し（②）、←/→ボタン（③）で撮影モードを選ぶ**
   シーンモード（p.6）の場合、（初期設定）を選んで MENU ボタンを押すと、モードを選べます。
3. **FUNC./SET ボタンを押す（④）**

■撮影モードの種類

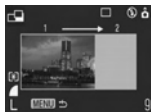
オート

カメラまかせで撮影できます。

マニュアル

露出を補正したり、ホワイトバランス、色効果などを自分で選んで撮影できます。

スティッチアシスト

撮影した画像をパソコンで合成してパノラマ画像を作れます。
[(撮影)] メニューから [スティッチアシスト] を選びます。

応用編 (p.45)

デジタルマクロ

レンズ前面から被写体までの距離が3～10cmのときに使います(ワイド端固定)。画像の中央をトリミングするため、通常のマクロ撮影よりも、被写体を大きく撮影できます。

応用編(p.38)

ポートレート

人物をやわらかい調子で撮影できます。

ナイトスナップ

夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいとき、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。

マイカラー

９つのモードで、画像の色味を簡易的に変化させて撮影できます。

応用編(p.56)

シーンモード

撮影モードを選ぶだけで、撮影シーンに最適な撮影ができます。

キッズ&ペット

よく動きまわる子供やペットを、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

パーティー/室内

蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。

新緑 / 紅葉
新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。

スノー
雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。

ビーチ
太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならずに撮影できます。

打上げ花火
打上げ花火を最適な露出で鮮やかに撮影できます。

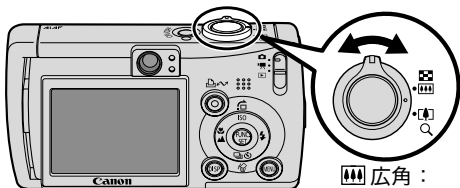
動画
シャッターボタンを押すと、動画を撮影できます。
「スタンダード」の他、スポーツなど速い動きの撮影に適した「スムーズ」、メールの添付に便利な「ライト」、画像の色味を簡易的に変更できる「マイカラー」の 4 つのモードがあります。

応用編(p.43)

・ では、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれを防ぐために必ず三脚をお使いください。
・ 、 、 、 では、撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。
・ は、被写体から 1m 以上離れてお使いください。

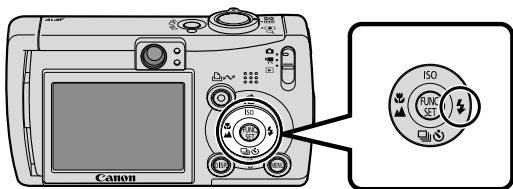
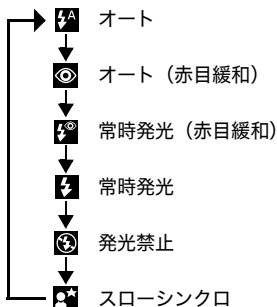
■ズームを使う

1. ズームレバーを 側、または 側に押す

35mm フィルム換算で、35 〜 105mm（焦点距離）の範囲で画角を調節できます。

広角：
被写体が小さくなります。
望遠：
被写体が大きくなります。

撮影する

■ストロボを使う

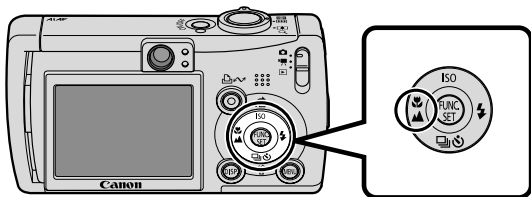
1. ボタンを押して切り換える

撮影モードによっては、設定できないことがあります。

赤目緩和：ストロボの光が反射して目が赤く写るのを防ぐ機能です。
スローシンクロ：遅いシャッタースピードでストロボを発光し、夜景などを撮影できます。

手ぶれ警告アイコン（ ）が表示されたときは、三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。

応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p.136）

■至近距離 / 遠距離で撮る

1. 🌷/▲ボタンを押して切り換える

解除のしかた：🌷/▲ボタンを押して、🌷または▲の表示を消します。

撮影モードによっては、設定できないことがあります。

🌷	**至近距離（マクロ）** 花や小さなものなどに近付いて大きく撮れます。 被写体に最も近付いたときの撮影範囲（撮影距離） ・ 最も広角側：37 × 27mm（レンズ先端から 3cm） ・ 最も望遠側：108 × 81mm（レンズ先端から 30cm）
▲	**遠距離（遠景）** レンズ前面から被写体までの距離が3m以上離れているときに使います。

・マクロモードでは、液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーを使うと、撮影範囲がずれます。
・マクロモードで撮影距離が 3 〜 30cm のときにストロボを使うと、画像の明るさが適切にならないことがあります。

➔応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p.136）

再生する

1. モードスイッチを ▶（再生）にする

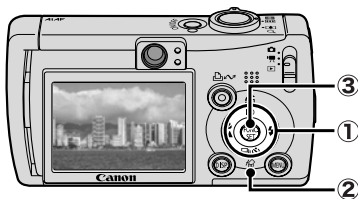
最後に撮影した画像が表示されます。

2. ◆/◆ボタンで見たい画像を表示する

◆ボタンで前の画像、◆ボタンで次の画像を表示します。
ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。

➔ 応用編でいろいろな再生方法をご確認ください。

消去する

1. **再生モードのとき、←/→ボタンで消去したい画像を選び（①）、🗑ボタンを押す（②）**

2. **［消去］が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押す（③）**
操作を取り消すときは、［キャンセル］を選びます。

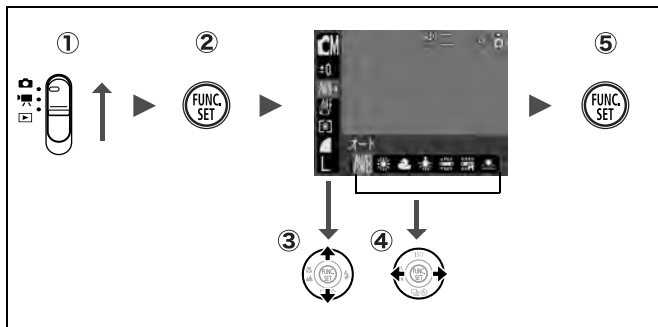
消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

→ 応用編：全画像を消去する（p.81）

メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、日付 / 時刻、電子音、無線接続などのカメラの設定は、FUNC. メニューまたは撮影 / 再生 / 無線 / 設定 / マイカメラメニューを使って操作します。

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。

① **モードスイッチを または にする**

② **FUNC./SET ボタンを押す**

③ **↑/↓ボタンでメニュー項目を選ぶ**
- 撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

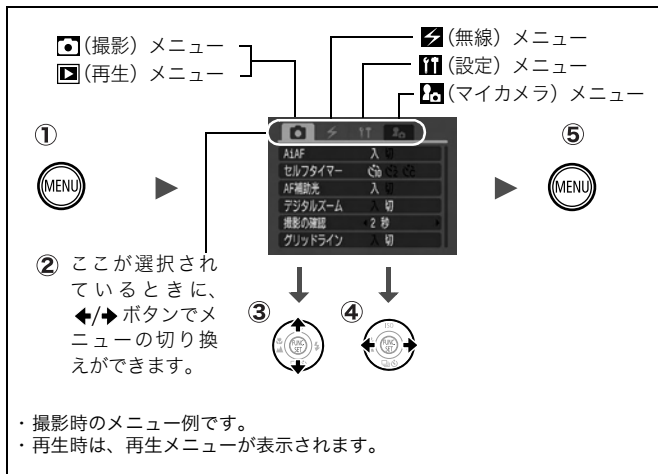
④ **←/→ボタンで設定内容を選ぶ**
- 設定項目によっては、MENU ボタンでさらに変更できます。
- 選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ **FUNC./SET ボタンを押す**

→ 応用編：メニュー一覧（p.31）

撮影 / 再生 / 無線 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生時の便利な機能を設定します。

・撮影時のメニュー例です。
・再生時は、再生メニューが表示されます。

① MENU ボタンを押す

② ←/→ボタンでメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ ↑/↓ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ ←/→ボタンで設定内容を選ぶ

・「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

・[(無線)] メニュー選択時は、メニュー項目によって設定方法が異なりますので、操作手順のページで詳細をご確認ください。

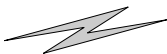
⑤ MENU ボタンを押す

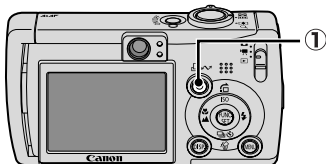
応用編 : メニュー一覧 (p.31)

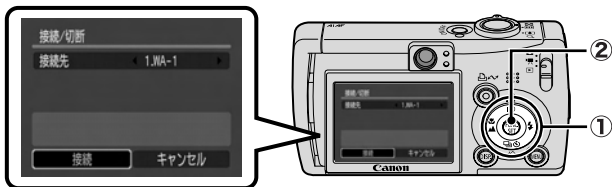
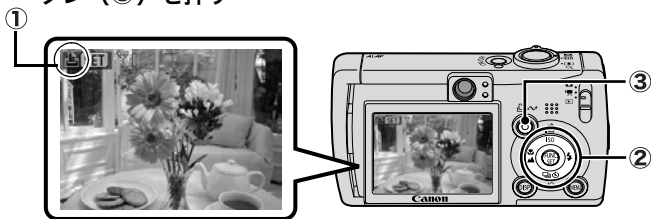
無線機能を使う

印刷する

PictBridge 対応のキヤノン製プリンターに、付属のワイヤレスプリントアダプターを取り付けると、カメラとプリンターを無線で接続して、簡単に印刷できます。

1. **付属のワイヤレスプリントアダプターにコンパクトパワーアダプターを取り付けて*、PictBridge 対応のキヤノン製プリンターに取り付ける**
   - ・プリンターの電源を入れます。
   - ・カメラを再生モードにして、電源を入れます。

   *コンパクトフォトプリンター SELPHY CP710/CP510 をお使いの場合は、ワイヤレスプリントアダプターにコンパクトパワーアダプターを取り付ける必要はありません。

2. **カメラの ボタン（①）を押す**

3. ［接続先］が［1.WA-1］になっていることを確認してから ←/→ボタンで［接続］を選び（①）、FUNC SET（②）を押す

無線接続が始まります。

4. 液晶モニター左上に（①）が表示されていることを確認してから、←/→ボタンで印刷したい画像を選び（②）、ボタン（③）を押す

・カメラとカメラダイレクト対応プリンターをケーブルで直接つなぎ、プリントすることもできます。お使いになれるプリンター、プリント方法はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

➔応用編：プリンターに接続する（p.92）

➔ダイレクトプリントユーザーガイド

パソコンに画像を取り込む

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。

●付属のソフトウェアをインストールして取り込む

・無線でカメラとパソコン*を接続する

・付属のインターフェースケーブルでカメラとパソコンを接続する

* 無線でカメラと接続できるパソコンの OS は、Windows XP SP2 のみです。

●付属のソフトウェアをインストールせずに取り込む*

・付属のインターフェースケーブルでカメラとパソコンを接続する

●メモリーカードリーダーを利用する

詳しくは、付属のソフトウェア＆ワイヤレスガイドをご覧ください。

*「Windows XP、Mac OS X をお使いの方へ」もご覧ください。

安全上のご注意

本機器を使用する際は、けがや火災、感電などを防ぐため、下記の注意事項にしたがって、正しくお使いください。

・ カメラユーザーガイド（応用編）の「取り扱い上のご注意」も必ずお読みください。

⚠警告

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

●落下などで、強い衝撃を与えないでください。カメラのストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

●指定外のバッテリーを使用しないでください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他のバッテリーや製品には、お使いにならないでください。

⚠注意

●ズボンやスカートの後ろポケットに本機器を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や液晶モニターの破損の原因となります。